



山形県の 英語教育充実だより

令和7年10月版
山形県教育局
義務教育課

Topic

調査問題から授業改善を考えよう～「話すこと」編～

令和5年度全国学力・学習状況調査問題（英語）から、今回は「話すこと」の資質・能力の育成に向けた授業改善について考えていきましょう。

「話すこと」
音声はこちら →



「話すこと」
スクリプトはこちら →



話すこと [やり取り]

動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、ゾウの誕生日を伝える

1 (1)

あなたは、オーストラリアからの留学生ソフィアのために動物園へ行く予定をたてました。今日がその当日です。会話が続いていくように、質問に答えたり、あなたの考えを伝えたりしましょう。解答時間は、(1) から (3) が7秒、(4) が20秒です。



A baby elephant! How cute! ... I can read some Japanese. Its name is Taro... it's a boy... and, what does this say? (解答時間 7秒)

正答例 His birthday is March first.

(全国正答率 19.0%)

どんな力をみる？

基本的な表現を理解し、やり取りの場面で活用することができるかどうかをみる。※即興で伝え合うことができるかどうか 【知識・技能】

つまずきはどこ？

19.0%の生徒が、例えば次のように解答
・“Birthday.” “It’s March first.”
→ 「誕生日であること」、「日付の情報」のいずれかが不足している。

18.4%の生徒が、例えば次のように解答

・“His birthday is May first.” “His birthday is March one.”
→ 日付に関する基本的な表現を理解していない。

5.0%の生徒が、例えば次のように解答 + 22.7%の生徒が無解答

・“His name is Taro.” “Three one.”
→ 相手からの質問を理解できていない。
→ 基本的な語や文法事項等の知識が身に付いていない。

このような要因も？

・A: When is your birthday? B: My birthday is ~. のように、誕生日を直接尋ねられて答えるやり取りには慣れているが、“What does this say?”の質問の意図を会話の文脈から判断して応答することができなかった？

約4.4人に1人
が「無解答」

【参考】(2)から(4)はこのような問題です。

(2)



I was so excited to see the baby elephant. So, what are we going to do next? (解答時間 7秒)

正答例 We are going to see kangaroos next. (全国正答率 9.4%)

(3)



Look! Kangaroos! They are really famous in my country, Australia. I know a lot about them. Do you have any questions about kangaroos? Please ask me. (解答時間 7秒)

正答例 What food do they eat? (全国正答率 13.4%)

(4)



I want to buy a gift for my host brother. He is only 4 years old. Which one should I buy for him, a picture book, animal cookies or a T-shirt? And why do you think so? (解答時間 20秒)

正答例 You should buy a picture book. He can learn about a lot of animals. (全国正答率 16.1%)

この一手!

正確さはすぐに身に付かない。
継続的な取組みが大切！

やり取りでは、例えば、次の視点を大切にしよう。

発話の正確さを高めるために

- 既習の語彙や表現を繰り返し使用することで、定着を図る。
 - 教師が、発話の中で意図的に使用させたい語彙や表現を使用する。
 - やり取りを繰り返し行いながら、間違いが多くみられた表現などについて、全体で正しい表現を確認する。
 - 関心のある話題について、即興で事実や意見、気持ちなどを伝え合う。
 - 事前に原稿を用意して内容を覚えたり、練習したりするなどの準備時間をとらずに、やり取りを行う。
 - 「何を伝えるか（内容）」を大切にしながらも、「英語でどう伝えるか（言語使用の正しさ）」について、やり取りの後に振り返る。
- 例：①発話した表現を書き出して、内容や言語使用の正しさの観点で修正点を考える。

②修正した表現を個人や全体で練習して、再度やり取りを行う。

対話を継続・発展させるために

- 教師やALTの発話に対して質問したり、生徒同士で質問し合ったりするなど、会話の流れに応じて関連する質問をする。
 - 自分が聞きたい情報や相手が述べていない情報について、Yes-No疑問文／orを含む選択疑問文／Wh-疑問文などを用いて質問する。
- 例：I went to Osaka last month.

→ Did you enjoy eating some local food in Osaka?
 → Did you go there by plane or by train?
What did you see there?

教師と生徒のやり取りの充実を！

- 話題の導入で／教科書の内容について／言語活動の前後など、授業中の様々な場面で、英語によるやり取りを意識する。

例：生徒に様々な質問をする／他の生徒にも尋ねる／理由などを尋ねる

- 生徒の発話に対するフィードバックを意識的に行う。 → コラムへ

ここで成果を確認

県 Step Up 評価問題 「話すこと [やり取り]」 1 2 (中1・2)



What do you like doing in your free time?



Uh... Sleepin...

Q.

この場面でどのように返しますか？

<修正フィードバック>

① 関連質問

Which do you like better, sleeping or eating?

② 教師自身のアイディアを伝える。

I like sleeping, too, but I like watching a soccer game better.

③ 生徒の発言の繰り返し

Uh… sleepin…?

④ 明確化の要求

What does that mean? / Excuse me? / One more time, please.

⑤ 生徒の発言の誘導

I like ...? (生徒の発話を促す)

⑥ 意味のやり取りの強化

Oh, you mean you like sleeping in your free time.

⑦ 意味の確認

You like sleeping for a short time? Or you like sleeping for many hours?

Which one?

⑧ リキャスト：暗示的訂正

Oh, you like sleeping in your free time.

⑨ 他の生徒を通したリキャスト

Oh, you are so busy every day. ○○, what does (最初に指名した生徒) like doing in her free time?

⑩ 言語的な手がかりを与えた支援

Do you like doing? って聞いているから、I like ~ing.で言ってみようか。I like に続けて…

「今回は内容面の充実を目指したいから、このフィードバックを意識しよう。」

「単元の後半だから、言語使用の正確さを高めたいな。このフィードバックで言語面の意識を高めよう。」

など、学習の状況や一人ひとりの生徒の実態に応じた効果的な支援を考えてみましょう。